

第 2 回足立区ギャラクシティ運営評価委員会議事録

会 議 名	第 2 回足立区ギャラクシティ運営評価委員会		
事 務 局	地域のちから推進部地域文化課 地域文化課文化施設経理係 地域文化課文化施設選定・評価係	課長 濱田 良光 係長 吉野 義浩 係員 上田 耕平 係員 枝川 彩子 係員 池田 重満 係員 吉澤 和史	
開催年月日	令和元年 8 月 1 日（木）		
開催時間	午後 2 時～4 時 3 0 分		
開催場所	ギャラクシティ レクリエーションホール 1		
出席者	宮田 隆志 委員 （東京大学大学院 理学系研究科教授）	渡辺 千歳 委員 （東京未来大学 こども心理学部教授）	伊志嶺 絵里子 委員 （東京藝術大学音楽学部 非常勤講師）
	酒井 雅男 委員 （銀座ヒラソル法律事 務所 弁護士）	北村 雅文 （足立区立小学校 P T A 連合会副会長）	
欠席者	四宮 淳司 委員 （足立区少年団体連合 協議会副会長）		
会議次第	1 開 会 2 委員長あいさつ 3 資料確認 4 指定管理者ヒアリング 5 意見交換 6 評価点確定 7 総括 8 事務連絡		
資 料	資料 1 次第 資料 2 ギャラクシティ運営評価委員会の活動目的 資料 3 平成 3 0 年度こども未来創造館・西新井文化ホール業務評価シ ート（事前配付済）		

	資料４ 平成３０年度こども未来創造館・西新井文化ホールチェックシート（事前配付済） 資料５ 基本協定書、年度協定書（事前配付済） 資料６ 年間事業計画（事前配付済） 資料７ 利用者アンケート結果（事前配付済） 資料８ タイムスケジュール 資料９ 点数記入シート
そ の 他	

様式第2号（第3条関係）

（審議経過）

【開会事前説明】

〈吉野係長〉今日は暑い中、お集まりいただきありがとうございます。定刻になりましたので、平成30年度運営にかかる、第2回ギャラクシティ運営評価委員会の事前説明をさせていただきます。開会に先立ち、昨日7月31日の第1回委員会開催時に委員の皆様からいただきましたご意見について、少し振り返ってみたいと思います。

- ・指定管理者の運営の不安定さ
- ・ホール事業についてビジョンを持つべきではないか
- ・安全管理
- ・参加者の実態がつかめていない
- ・アンケートの重要性

などについてご意見が出されました。

続きまして安全管理につきまして、ご説明いたします。

【安全管理についてご説明】

〈吉野係長〉それでは開会に先立ちまして、宮田委員長からご挨拶をお願いいたします。

【委員長あいさつ】

〈宮田委員〉2日目となり、評価点を決めていかなければいけません。昨日明らかにできなかったことも含めて議論していければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

〈吉野係長〉それでは、ここからの進行は宮田委員長にお願いしたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

【開会】

〈宮田委員〉ただいまから、ギャラクシティ

の平成30年度運営にかかる第2回運営評価委員会を開会いたします。

本日は委員数6名のうち、出席者5名、欠席者1名となっております。

早速ではございますが、議事進行に移ります。まずは本日の資料について、事務局から説明をお願いいたします。

【資料確認】

〈事務局〉それでは資料の確認をさせていただきます。机の上に本日の次第および資料を配布しております。資料については昨日と同様の内容となります。

- ・第2回次第
- ・資料（1）～（5）昨日同様
- ・タイムスケジュール修正版

もし、お手元がないものがございましたら、挙手にて事務局にお知らせください。本委員会は公開となりますので、傍聴人が入室する場合がございます。以上で事務局からの説明を終わります。

【指定管理者ヒアリング】

〈宮田委員〉ありがとうございます。それでは、指定管理者のヒアリングを行います。本日のヒアリングでは、昨日のヒアリング時から追加の質疑や意見交換の際に出た疑問点などをさらに詳しく聴取できればと思います。参考に昨日ヒアリング時に出たものとしては

- ・収支について
- ・指定管理者アンケートの内容
- ・ホールについての減点項目、未達成の原因
- ・安全管理について

があったと思います。他の点についての質問もかまいません。

【指定管理者入室】

〈宮田委員〉昨日に引き続きヒアリング、質問をさせていただければと思います。

〈北村委員〉安定的な経営を行っているという項目について、収支がマイナス約8,000万円とありますが、前年度の収支の比較はどうなっていますでしょうか。

〈田中総務部長〉前事業者との詳細な比較データは持っていませんが、私たちの分析では、1つ目は事業関係の費用の見立てが違っていました。2つ目は維持管理についてですが、実際運営してみて、駐車場の警備に関してはかなり複雑な運用で、通常に積算したものとコストの見立てが変わってしまったところがあります。

〈北村委員〉次年度以降はどうでしょうか。

〈田中総務部長〉事業に関して、常設部分のところでお客さんがたくさん来ます。定員制の講座を精査していきます。維持管理に関して、一部前事業者から引き継いだ部分があるので、内容も含めて精査していき反映していきたいと思います。

〈伊志嶺委員〉西新井文化ホールの区民応援型事業の項目、減点された原因について、計画通りいかなかった理由は何でしょうか。

〈村田館長〉ホールの設定日が年間で決められていまして、予定していた2本が入りませんでした。その2本というのは足立区出身の声優さんの朗読コンサートを予定していましたが、設定日と都合が合わなくなってしまったものです。もう1本はミュージカル作品を

区民公募で作るというものを提案していましたが、劇団四季ご出身の方と以前からつながりがあり、作ろうと企画していましたが、こちらも設定日と都合が合いませんでした。今年の12月8日に、まずはまるちたいけんドームを使って、レビューショーをはじめ、来年の春休みから公募してやろうと思います。出演者とホールの設定日が合わなかったことが原因だと思っています。

〈伊志嶺委員〉今のご説明が、1点、減点になってしまった原因であるという解釈でよろしいでしょうか。その他の要因もあるのではないのでしょうか。あるいは、事業数が満たなかったということが大きく響いたのでしょうか。

〈村田館長〉エンターテインメント事業を優先してしまった関係で、区民応援型事業が達成できませんでした。

〈酒井委員〉5ヵ年計画についての質問です。開発事業についてですが、デジタルコンテンツの開発が2018年度に2種開発する但实际上は、結果は0種となってしまった理由を知りたいのですが。また、その結果を受けて2019年度の2種というものは達成できますか。

大人体験事業の平日クライミングウォール事業が0名となっていますが、2019年度以降の計画をどのように達成していきますか。大人まるちたいけんドーム活用とありますが、これはどういう趣旨なのか、ご説明いただければと思います。

〈村田館長〉デジタルコンテンツに関しては、新しく取り入れたり、改修したりすると費用的に数百万円かかり厳しいため、他の事

業を優先しました。業者を呼び、ギャラクシティに合うようなものの見積もりを取りましたが、厳しいものでした。今年度はリースもしくは買い取りを含めて検討しています。

他の施設を見学して思ったことは、足立区の子どもは投てきが苦手ということです。ボールプールを使ったコンテンツは集客力もよく、回転率が良いのではないかと思います。業者と交渉中ではありますが、いつからやるかまだ検討中です。平日のクライミングウォールに関して達成できなかった理由は、人的に不足していたことです。通常の遊具施設を優先してしまった結果です。それに伴い、平日のクライミングの講座をテーマに仕様書では組み込まれていたのですが、これも同じくできませんでした。昨年度の11月から、インストラクターを呼び、子供向けと大人向けの講座を開始しております。今年度に関しても4月から継続実施しております。

また、平日クライミングウォールに関しては、水、木、金曜日の週3回始めております。

〈酒井委員〉この計画にある必須事業と併用という部分が、実際どのように達成されているかについてのご説明をいただければと思います。

〈田部ディレクター〉必須事業と併用については、大人向けのイベントとしましては、相当回数行っていると思います。

〈村田館長〉必須事業と併用に関しては、プラネタリウム規定曜日の投影に関して未達だったことだと思います。生演奏など、大人まるちたいけんドームでのコンサートもやっていますが、そことうまく連携できなかったのではないかと思います。

〈酒井委員〉デジタルコンテンツの開発に関して、費用が数百万円かかるとおっしゃっていました。所有権を取得するのではなく、使用許諾的な形で利用できないかということです。今のままであると、この5ヵ年計画で大丈夫でしょうか。

〈田中総務部長〉1点補足よろしいでしょうか。ハード面に関しても懸案事項がございます。1つはコンテンツサーバーを動かしているOSの問題があります。2020年にWindows7のサポートが切れるので、サーバーOSの切り替えがあります。ハードウェアに関しては、プロジェクションマッピングのメーカー保証が切れます。そこが懸案事項として入ってきます。そこも含めた上で、許諾なのか自ら開発先と連携して作るのかを検討していきたいと思います。

〈酒井委員〉検討していきたいとありますが、想定されていた事象ですから、決めなければ、先に進まないと思いますが、決められますか。

〈田中総務部長〉新しいコンテンツの購入を模索しています。

〈酒井委員〉購入は高いというお話でしたよね。既にあるデジタルコンテンツは多種多様だから、それにお金をかけるということですよね。もう開発はしないのですよね。

〈田中総務部長〉二次開発を考えています。既存のものをベースアップして提供していく方が主流になっていますので、そちらのほうがバリエーションが豊富で、良いのではないかと思います。

〈酒井委員〉新規のものではなくて、カスタマイズした拡張を使うということですね。

〈酒井委員〉クライミングウォールに関しては人員の問題があるというお話でした。人員の問題に関しては計画時にわかると思いますが、2019年度についてはどのように工夫して、達成できるようにしますか。或いは困難という判断でしょうか。

〈村田館長〉去年はできませんでしたが、放課後、週3回実施で、だいぶ浸透してきました。今後は全体を鑑みて、クライミングやボルダリングはオリンピックの競技でもありますので、週3回実施から更に日程を増やしていきたいと思います。

〈宮田委員〉安全管理についてですが、館全体として、インシデントみたいなことはどれくらいあって、どういうふうに、統計を取って管理をしていますか。ヒヤリハットみたいなものも含めてお願いします。

〈村田館長〉日頃の安全管理に関しては、起きたことも含めて、全職員で共有しています。起きてしまったことは今後起きないように心がけています。内部研修だけでなく、外部研修も行っています。本社でも衛生管理、個人情報管理などトータル的に実施しています。内部においても総務チーム、こども体験チーム、文化ホール事業チーム、広報チームの4つのチームを組み、各セクションで月1回、業務だけではなく、危機管理についても共有しています。ケガが多く、傷病手当記録など毎回記録を取っています。クレーム共有シート、事故報告書、共有、回覧、朝礼において開示しております。

〈宮田委員〉ケガが多いとありましたが、1か月でどのくらい起きますか。

〈伊藤副館長〉夏休み期間や土日曜日になりますと、鼻血などのケガが1日2回くらい発生しております。その場合は救護室で手当てをしております。今後は熱中症対策なども考えながら運営していきたいと思います。

〈渡辺委員〉5ヵ年計画で、体験キット開発が0件ということですが、なぜでしょうか。

〈村田館長〉優先順位が下がってしまいました。去年の3月から考えていることですが、バトルブロックという玩具を障がい施設の方に作っていただいて、ショップで販売しています。体験キットとして置く計画をしています。去年は今までのものが人気だったから変えられずということで開発が0件になってしまいました。今年度は3種類5セットとあり現在はバトルブロックの1種類は決まっているので今年度中にはあと2種類開発していきたいと思います。

〈伊志嶺委員〉昨日説明していただいたコンセプトの中で、社会の変化ということで、最近外国人の方が増えていると思うのですが、外国人の方はギャラクシティをどのくらい利用されていますか。接遇などの工夫はされていますか。また、障がい者や社会的弱者と呼ばれている方々に配慮した企画などがありますか。

〈村田館長〉東南アジア系の方が中心ですが増えています。数人バイリンガルの職員を配置して対応していますが、まだまだ整っていないのが現状です。館内案内も英語版、中国語版、韓国語版に関しては作らせていただい

ています。パラリンピックもありますので、昨年障がい者スポーツを身近に体験できる企画として、ボッチャ体験、障がい者バスケット、障がい者バトミントンを企画し、実際に見るだけでなく、車椅子に乗って一緒に体験していただく企画を3回をやりました。今年もオリンピックの機運を高めるために、出場を目指している一流の選手を呼んで9月以降定期的に開催しております。今年9月に東京未来大学とまるちたいけんドームのコラボでバリアフリーコンサート公演を2回予定しています。これから募集する予定です。今後、オリパラが始まるにあたり、手荷物検査や災害対策コンサート、避難訓練コンサートの実施を考えています。

〈伊志嶺委員〉昨年、障がい者による文化芸術活動の推進に関する法律が施行されたのでこれから求められることがたくさんあると思います。公立の文化施設でも敏感に反応しているので、取り入れていかれると良いと思います。

〈村田館長〉e-sportsはまだオリンピック競技にはなってはいませんが、体格に関係なく子どもや健常者、障がい者、ひきこもりの方どなたでもできる要素があります。実際、今年の4月にホールで、小学生向け、中高生向けのe-sportsの大会を行いました。そういった意味でも障がい者の方に参加していただきたいと思います。近くにある支援センターや特別支援学校にも声掛けをして、興味を示していただいています。しかし、まだ参加までに至っていませんので、今後、周知を含めた活動に力を入れていきたいと思っています。

〈宮田委員〉指定管理者が変更したことによ

って、ステップアップ講座に関しては、どのような影響がありましたか。長いスパンで見たときに効果がありましたか。具体例があれば教えてください。

〈村田館長〉ステップアップ講座の効果は、こども未来創造館、西新井文化ホール、プラネタリウムという複合施設の中で、体験から何かをつかむ、継続的に行い、成果発表をするという繰り返しでステップアップしています。昨年に実施したものに関しては、4月に体験したものは、夏に発表をし、秋に体験したものに関しては、3月に発表をするというスタンスで繰り返し行っています。館内インタビューをして、それを記事にしたり、人前で発表させる、それができる環境がここには整っています。がんばるウォールやホワイトあとリエのようなスペースも、人が集まるスペースなので、そのような場所でも成果発表をしています。先日2回目の大ひょうげんという事業をやって、6日間ワークショップをやって、最終日に舞台に立つという、体験、継続、成果発表という3ステップを繰り返し行い、3年後に子どもたちだけで行う、こども総会を集大成と考えています。子どもたちが主体的に自分たちの意見を言えるような仕組みづくりを中心に考えています。我々が感じている、すぐわかる効果は、こどもが手を挙げるのが楽しくなったという感想はいただいております。1回受けた方がリピートして継続していただいている方が多いということは、保護者の方たちも望んでいることなのかなと感じております。学校ではできないような、インプットやアウトプットを繰り返しできるような事業を意識しています。

〈渡辺委員〉大ひょうげんは素晴らしいと思

いますが、今年もありますか。

〈村田館長〉大ひょうげんは、7月22日から28日に実施し終了しました。最終日の発表日はホールで行い、観客は、保護者の方や当日の来館者の方です。

〈渡辺委員〉皆さんに広く来ていただくための呼びかけ、広報活動はしていますか。

〈村田館長〉ホームページや広報紙などで周知を行っています。興味のある方は見に来てくださいと伝えています。

〈渡辺委員〉何人くらいの参加者がいましたか。

〈村田館長〉480名くらいです。ホールの1階が埋まるような感じです。

〈渡辺委員〉1年目に参加された子は、2年目にも参加されていますか。

〈村田館長〉中にはいらっしゃいます。同じことをやっている子もいますし、違う種目をやっている子もいます。

〈渡辺委員〉ステップアップを考えるのであれば、1年目にやったものについて、さらに高度なものを2年目でできるという仕組みはありますか。

〈村田館長〉そういう仕組みもあります。基本コースやその上のコースといったような中学生もできる仕組みもあります。決定まではいつてないですが、ジャパンフェスタで発表枠を作り、成果発表させてあげたいと考えています。

〈宮田委員〉よろしいでしょうか。指定管理者ヒアリングを終わりにしたいと思います。ありがとうございました。

【指定管理者退出】

【評価点決定・意見交換】

【評価点確定】事務局より点数報告

〈宮田委員〉評価点に関して、疑義等ございますでしょうか。ではこれで評価点は確定したいと思います。これから20分程度評価についてご議論いただければと思います。

【次年度の評価について】

〈酒井委員〉昨年に比べて、検討する資料が少なかったと思います。これを繰り返し評価していて、指定管理者は向上するのか、また数字の評価だと数字に走ってしまうのではないかと思います。

〈宮田委員〉利用者側から見たときにどういう館なのか、とても良いが高いから○で良いのか、裁量があつたほうが、誤った方向にいかないのかなと思います。

〈酒井委員〉アンケートは基本項目を考えて、アンケートの調査対象の特性に合わせて、バリエーションをそろえるということなので、アンケートはすぐに改善できると思います。

〈宮田委員〉2日間の評価委員会の日程の期間についてはどうですか。

〈伊志嶺委員〉指定管理者さんのヒアリングについて目玉のものだけをお話ししてもらっ

た感じではありますが、チェックシートに沿って、すべての項目について、説明じっくりしてほしいと思います。例えば、ステップアップ講習に来てくれた子どもが、後にボランティアとして手伝いにきてくれるといった循環が生まれた等、データに表れない情報も大切だと思うので、ヒアリングの時点で入れてもらえると思うと思います。評価シートに入れるのは難しいですかね。

〈渡辺委員〉見せたいところをプレゼンしてくれたことは良かったです。できれば、あらかじめ質問をあげて回答してもらえそうな仕組みにしてもらえればどうかなと思います。

〈宮田委員〉やり取りする時間が短かったので、指定管理者さんも残念であったのではないかと思います。

〈酒井委員〉時間もなかったですもんね。

〈宮田委員〉ありがとうございました。では以上で評価点及び意見交換を終了いたします。今後の流れを事務局からお話させていただきます。

【事務局より今後の流れの説明】

〈宮田委員〉以上をもちまして、足立区ギャラクシティの平成30年度運営にかかる、第2回運営評価委員会を閉会いたします。

【閉会】